

## 令和3年度 中央区立豊海幼稚園 外部評価報告書

外部評価委員：宮森孝一、山内栄一郎、赤熊弥生、横田慎一郎、太田 薫  
報告書作成者：神山安弘

評価時期 令和4年3月

### 1 重点目標の評価

#### 重点目標1「心身共に健やかな幼児を育む」について

評価指標(1)「感染症予防や生活に必要な習慣を身に付けられるように指導する」は、保護者 99.4%、教員の 100%が「十分に達成している」「達成している」と高い評価を得ている。コロナ禍での教育活動を創意工夫し、幼児の教育内容を充実させる取組が保護者に理解された結果である。同様に「全体の評価」2の「園生活に必要な生活習慣を身に付けている」も保護者の 97.7%が「十分に達成している」「達成している」と高い評価を得ている。評価指標(2)「幼児自ら諸感覚を働かせて体を動かしながら遊びを楽しむような環境を工夫する」は、保護者 99.2%、教員の 100%が「十分に達成している」「達成している」と高い評価を得ている。同様に「全体の評価」6の「幼児が体を動かして遊ぶことや自然に触れる経験にすすんで取り組んでいる」も保護者の 99.6%が「十分に達成している」「達成している」と高い評価をしている。園として意図的・計画的に実践した成果であるといえる。

#### 重点目標2「身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ幼児を育む」について

評価指標(1)「幼児の心の動きを感じ取り、いろいろな遊びを楽しみながら自分なりの満足感や達成感を感じることができるよう、遊びや活動を振り返り、幼児の経験内容を把握した指導を展開する」は、保護者 96.5%、教員 100%が「十分に達成している」「達成している」と高い評価を得ている。「全体の評価」3の「教職員は幼児をよく理解して指導にあたっている」も保護者 98.2%が「十分に達成している」「達成している」と高い評価を得ている。しかし、この評価指標は保護者や地域の方には専門性が高いと感じる。評価指標は簡潔に分かりやすい内容にすることが望まれる。評価指標(2)「遊びが深まるような教材を開発・提示したり、主体的な活動を展開したりする」は、保護者 96.6%、教員 100%が「十分に達成している」「達成している」と高い評価を得ている。園の考察に「保育後にその日の保育を振り返り記録を書くことで、自分の保育を客観的に考察した」と書かれているように、園として、毎日の教育活動の「環境」や「指導」を考察し、改善を繰り返した成果が教育活動の質の向上に反映した結果であるといえる。

#### 重点目標3「東京2020オリンピック・パラリンピック教育や食育活動等、豊海の特色ある教育を推進する」について

評価指標(1)「東京2020オリンピック・パラリンピック教育で一校一國運動の活動を工夫する」は、保護者 97.1%、教員 100%が「十分に達成している」「達成している」と高い評価を得ている。「ブラジル連邦共和国」選手団への応援メッセージボード、大会期間中の園内の様子を撮影し様子を見せる活動、手作り遊具や遊びの体験、「ポルトガル語」での挨拶など特色ある教育活動の実践の成果である。評価指標(2)「健康な心と体をつくる基礎となる食事の大切さや和食文化に興味や関心をもてる野菜を育て食べる食育活動の展開」は、保護者 98.5%、教員 100%が「十分に達成している」「達成している」と高い評価を得ている。しかし、「全体の評価」14の「好き嫌いをせずに、様々な食材を食べている」は、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」が約 36%を示している。食生活は保護者の家庭の生活文化と関わりが深いことや子どもの実態を把握しやすいなどが理由と考えられる。今後、園としては「全体の評価」11の「保護者にとって相談がしやすい」、12の「家庭への連絡や情報の提供」で高い評価を得ているので、評価指標の目的・方針・実践などを具体的に伝える啓発にも力を入れることが求められる。

### 2 今後の改善に向けた意見

保護者・教員アンケートにおいて全ての評価指標で高い評価を得ている。コロナ禍の教育活動で様々な制限があるなか、園がチーム力を発揮し取組んだ一年間の成果が評価された結果である。高い評価の要因についてアンケート結果をもとに分析・考察し、今後も継続して教育活動の質の向上を図ることを期待したい。

### 3 その他の意見

評価指標の文言を吟味し、保護者等に教育活動の評価を分かりやすくする工夫することを期待したい。

